

一般社団法人 日本物理学会
2018 年事業報告
(2018 年 1 月 1 日～12 月 31 日)

目次

- 1. 事業概要
- 2. 各事業詳細資料 (附属明細 1) 処務詳細資料
 - 2-1. 学術講演会の開催・後援等 ・総会・役員会等に関する事項
 - 2-2. 国際交流・協力活動 ・契約・入札・他に関する事項
 - 2-3. 物理学に関する普及・啓発活動 (附属明細 2) 会員の異動状況
 - 2-4. 本会の目的達成のために重要な活動 (附属明細 3) 事務局の現況
 - 2-5. 刊行物 (実施事業を含む)

1. 事業概要

主な活動内容は

- 1) 会友制度の導入・整備、およびジュニア会友制度等の検討
- 2) 英文誌刊行事業の検討・整備と学会誌の充実
- 3) 企業や民間も含めた社会との連携による学会諸活動の活性化の検討
- 4) 学会活動を支える事務局・各種組織と財政基盤の整備
- 5) 国内外の学協会・団体との連携の強化と国際化の推進
- 6) 社会への物理学情報の発信力強化と学会活動広報の充実
- 7) 物理学関連の教育、人材育成と人材活用・支援の強化
- 8) 大会のあり方の検討と充実

である。以下にそれぞれを概観する。

1) 会友制度の導入・整備、およびジュニア会友制度等の検討

2017 年度に会員・会友 WG によって作成された「会友に関する内規」を理事会において承認し、2017 年 10 月から会友制度をスタートさせてきた。また、これに伴う特別措置として、すでに退会してしまった会員 (大学院生) についても会友となれるよう配慮した。2018 年度は、この会友制度の立ち上がりを注視してきた。会友登録者数は徐々に増えてきているが、100 名には届いていない (2018 年 12 月 8 日付け 92 名)。これまで以上に、会員に対しこの制度を広く周知する必要がある。会友の付加価値を増すために、会員会友を対象としたメールマガジン導入に関する検討を行ったが、実現するためのシステム変更に要する予算的な面から、次年度以降に見送ることとなった。従来から検討を進めてきている高校生に対する「ジュニア会友」制度を含めて、今後とも検討を進める。

2) 英文誌刊行事業の検討・整備と学会誌の充実

JPSJ の購読機関数の増加を図るため、購読と市場調査に関する AIP Publishing との提携がまとまり 2018 年 3 月 15 日付けで契約書を交わした。海外機関との契約は AIPP が担当し、国内機関については AIPP の日本総代理店である紀伊国屋書店が購読を担当する体制となり、2019 年 1 月の出版から適用される。機関購読料については交渉に基づいて毎年更新となる。なお、初年度は、国内機関については購読料金等の変更はない。JPSJ の編集業務の改善を目指して、担当編集委員制を従来のレター論文だけでなく全論文に適用することとした。これら各種の努力により、投稿・掲載論文数は漸減傾向からの改善が見られるようになった。国際情報発信強化の科研費獲得に向けて、PTEP との協力態勢のもと、優れた論文の紹介ページを立ち上げるなどの新規事業を計画し、科研費申請を行った。

JPS Conference Proceedings は 2018 年中に 5 冊刊行した。

PTEP はオープンアクセスジャーナルとしての編集・刊行方針により優れた論文の投稿を呼びかけると

ともに、支援機関への働きかけを継続した。オープンアクセス刊行支援の科研費が 2018 年 3 月で終了したため、JPSJ と協力して優れた論文の紹介ページを立ち上げるなどの新規事業を計画し、国際情報発信強化の科研費を JPSJ と共同申請した。2018 年 12 月下旬より米谷民明氏が編集委員長臨時代行に就任した。

毎月発行している学会誌は、多岐にわたる物理学諸分野の最先端の成果や関連分野の情報を、専門分野外の会員にもわかりやすく解説する記事などを掲載し、会員相互理解と協力関係を培う目的で発行されている。そのため、今年度も、現代物理のキーワード、交流、解説、最近の研究から、実験技術などの記事を掲載した。また、物理教育は今、歴史の小径、話題、などで物理学に関するニュースや話題を取り上げて会員に情報提供した。会員の声欄では、会員からの意見等を掲載した。会合情報や人事公募情報、研究費公募情報なども掲載し、会員の教育研究活動を支援する情報も提供した。特別企画として、人工知能学会との連携に関する多数の解説記事等を準備している。また、平成時代を振り返る特別企画「平成の飛跡」も準備し、いずれも 2019 年に順次公開される。

3) 企業や民間も含めた社会との連携による学会諸活動の活性化の検討

本会は、学術的な講演会などで専門家ではない一般聴衆向けに情報発信を行ってきたが、必ずしも「連携」といったスタンスは取ってこなかった。また、民間企業も賛助会員として受け入れているのみであった。一方で、昨今の社会からの要請の多様化には、物理学会のスタンスを今一度考えるべき時期に来ていることを痛感させられる。そこで、まず寄付金制度について改革を行った。今までも、学会として篤志家からの寄付金は受けており、2006 年の寄付金を基に 2010 年から若手奨励賞の賞状等としている。これ以外にも、何度か個人からの寄付を受けてきており、個人の資格での賛助会員も見受けられる。しかし、本会として寄付の依頼などについての積極的広報活動は行ってこなかった。更に規定上は、寄付金の許諾は理事会決裁となっており、比較的大きな金額を想定した規則があったのみである。そこで 2018 年度、一般からの少額の寄付をも想定して「次世代人材育成プロジェクト」という受け入れ枠を新たに設けて、理事会での審議を経ずに受け入れられるように規定を改定した。これに伴い、物理学会のサポーターを募ることで積極的に社会との連携を目指すこととした。2018 年度は試験的に科学セミナーの会場で寄付金を募る試みを行い、十数名からご寄付頂いた。なお、用途について指定があるような場合には、今までと同様に理事会の判断を仰ぐこととなる。

社会との連携を模索するため、理事会のもとに社会連携検討WGを立てていくつかのアプローチを行っている。一例として、本会と人工知能学会との連携があげられる。両学会執行部の関係者による相互協力に向けた意見交換により、まずは互いの学会活動を双方の会員に周知してもらおう試みについて同意した。これを受けて、双方の学会会誌に企画記事を掲載し、第 73 回年次大会 (2018 年) の総合講演(物理学会)と企画セッション(人工知能学会)として、相互の分野に関わる紹介と意見交換を行った。最近マスメディアなどでも取り上げられているように、人工知能は産業の一部を大きく変革されることが予測されており、このような分野における物理学の立ち位置を模索していくことが、社会に貢献する若手人材を育成することに対応すると考えられ、引き続き社会との連携を行っていく。

4) 学会活動を支える事務局・各種組織と財政基盤の整備

事務局は物理学会の活動を日常的に支えている重要な組織である。給与も含む事務局職員の待遇については、「国家公務員に準ずる」というルールが広く了解されている。この方針を長期的に安定に維持できるよう、事務局運営委員会では、2016 年度に職員待遇の細部における差異も考慮した給与体系改定案を作成し、2017 年度には事務局職員に対する説明を行ったところ、職員からは、フレックスタイム制導入、永年勤続者に向けたリフレッシュ休暇などの提案・要望があった。そこで、これらを加味した新たな給与体系を実現するための、就業規則、各種労使協定、給与規則などの整備を 2017 年度に行い、2018 年 4 月から新しい給与体系が実施された。就業時間が 15 分延長となったが、フレックスタイム制の導入により余り大きな混乱は起こらなかった。むしろ勤務形態の自由度が増えたために残業時間も短縮傾向が見られ、多くの事務局職員に受け入れられている。これも要望のあった休日の委員会等の開催回避については継続して学会内に働きかけることとする。

応用物理学会の移転に伴い 8F と 5F に分散していた物理学会の機能を 5F に集約したことで恒常経費である室料の大幅な節減が実現した。フロア変更に伴う突発的な支出も必要最小限に抑えられ、2017 年

度予想された大幅な赤字決算となることは避けられた。2016 事業年度における会費改定により財政の健全化が大きく進展したものの、一方で、会員数の減少、会誌広告等の減少は将来の収支バランスに対する不安要素であり、引き続き会計の分析と適切な対応を要する。また秋季大会を中心に大会個別での赤字傾向が継続していることから、大会参加登録料の見直しなど大会収支の健全化も必要である。そのため、第 73 回年次大会(2018 年)より非会員参加登録費、2018 年秋季大会より一般・学生会員の参加登録費の値上げを行った。これら室料の大幅な節減と、参加登録費の値上げにより、予算段階で予想された大幅な 2018 年度赤字決算が大きく圧縮される見込みとなった。

5) 国内外の学協会・団体との連携の強化と国際化の推進

2018 年 10 月 9 日に、日本物理学会とカナダ物理学会(Canadian Association of Physicists:CAP)との間に相互協力協定(Reciprocal Agreement)が結ばれた。締結の署名式は、カナダのオタワにおいて、日本物理学会 川村光会長と CAP の Bruce Gaulin 会長(President)との間で取り交わされた。今回の相互協力協定締結の話は CAP 理事会の国際協力担当理事になられた Rituparna Kanungo 教授からの 2018 年春の呼び掛けによるものである。Kanungo さんは原子核物理学の実験が専門で、不安定原子核の実験を通じて 5 年程我が国に滞在されたことがあり、協定締結に御尽力いただいた。協定の大筋は、日本物理学会の会員がカナダ物理学会の大会(congress)に CAP 会員と同等の参加登録費で参加し、講演申し込みが可能となること、及び、CAP が発行する Physics in Canada の購読がカナダ内の CAP との提携学会価格で可能となることであり、これに対応する便宜を日本物理学会側がカナダ物理学会員に与えることにある。同様の相互協力協定はこれまでに 11ヶ国と結んできており、カナダで 12ヶ国目となる。

AAPPS(Association of Asia Pacific Physical Societies)に関しては、President の G. Lu Long のもとで 2016 年から新しい体制で活動がなされているが、執行部には横山順一氏が secretary として、Bulletin 編集委員会には本林透氏が編集委員長を務めている。物理学会は本年度 Membership fee として USD500 (2018 年度に USD200 から値上げ)、Bulletin contribution として USD5,000 を収めている。なお、昨年度 Membership fee として USD200 を収めたのは 17 学会メンバーのうち 6 学会である。現在 3 つの Division (DNP, DPP, DACG)が存在し APTCP からの援助を受けて活動しているが、いずれも物理学会からのメンバーが代表等を務めるなど重要な役割を担っている。現在、物性物理分野を中心に Division の拡大が提案・検討されている。昨年度 AAPPS 委員会が Division のまとめ役となる liaison の選出依頼を各コミュニティに行った。これをもとに、Division の分野ならびに規模の調整、APPC14 に向けての取り組みについて対応がなされている。2018 年 11 月 9-10 日に Council Meeting が韓国 Pohang にて開催された。会議では、メンバー学会の規模に応じた会費の調整、Division の拡大、women-in-physics の取り組み、CN Yang award の選出規則などについて議論がなされた。また 2019 年 11 月に APPC14 がマレーシアで開催されるが、その Plenary speaker 推薦を各コミュニティに依頼を行った。

日本人工知能学会とは、2017 年 7 月に双方の会長・副会長を含むメンバーで会合を持ち、連携強化が検討された。その結果、2018 年 3 月の日本物理学会第 73 回年次大会総合講演を AI 学会 山田会長にお願いするとともに、2018 年 6 月の人工知能学会において川村会長らが企画セッションに参加した。また、双方の会誌において企画記事を掲載する準備が進められている。これからも、関係諸学会との協力体制を構築していきたい。

日本物理学会は物理オリンピック日本委員会(JPhO)に団体会員として参加しており、日本物理学会の理事 1 名が JPhO の理事を兼務し JPhO との連携を進めた。また、2018 年度には、JPhO より財政支援の要請が有り、期間を区切ったの援助を行うこととし、物理チャレンジ開催費に用途を限って 2018 年度は 40 万円の支援を行った。一方、2016 年 5 月には、2022 年に日本が主催する「第 53 回国際物理オリンピック」の組織委員会 (IPhO, 小林誠委員長) が結成された。日本物理学会は、応用物理学会・日本物理教育学会と並んで、国際物理オリンピックの共催団体である。物理学会長は組織委員会委員として指名されており、今後実施に向けての具体的な活動に協力する。2018 年 4 月には、一般社団法人として、国際物理オリンピック 2022 協会(代表理事、小林誠)が発足した。物理学会は団体(法人)正会員として会費 40 万円を負担することとした。また、運営幹事会専門委員 1 名を送ることとなった。

6) 社会への物理学情報の発信力強化と学会活動広報の充実

科学セミナー、公開講座、市民科学講演会、Jr. セッションを例年通り実施した。科学セミナーは、

昨年同様の土日開催と参加費徴収を行ったが、昨今注目を集めている人工知能をテーマとしたため、早い段階から予約が上限に達するなど多くの聴衆を集めて好評であった。市民科学講演会については 8) 大会のあり方の検討と充実 を参照されたい。

HP の活用に関しては、例年通りノーベル物理学賞に関するニュースに素早い対応を行なった。過去のアクセスデータ等をもとに、日本語版 HP についての改修計画に着手し、特に大会関係の申し込みなどに簡便にアクセスできるように工夫した。また、スマートフォンなどの普及に伴い学会 HP の一部をモバイルフレンドリーに対応した。

会誌の広告掲載や大会・年次大会の企業展示について近年の低迷を検討し、本年度より新しい仲介業者との契約に切り替えて広告収入の増収に向けて取り組みを行っている。すぐに結果が出るような短期的な効果は期待するべきではないが、しばらくは動向を見極めたい。パンフレットの再改訂も行い、印刷費などを浮かせられるように簡素化した。クリアファイルについても更新を行った。パンフレットやクリアファイルは、科学セミナー等で配布を行い、広報活動に有効に用いられている。

社会への物理学情報の発信という観点に立つと、現状では学術的な内容を如何に敷衍するかという視点が強いが、他の学協会との関係などを鑑みて、物理学を学ぶ若手人材の社会での活躍を如何に支援するかも同様に重要であると考えられる。現状では人工知能学会など、物理学とは少し離れた分野との情報交換を行い、広報活動の在り方についてもいくつかの試みを行いつつある。特に 3) の寄付の項でも述べたように、本会と社会とのさらなる連携を目指した「次世代人材育成プロジェクト」を立ち上げつつある。このプロジェクトは、中高生を対象とした Jr. セッションや物理教室、一般向けの科学セミナーや市民科学講演会、あるいは本会若手会員を対象とした理工系人材のためのキャリアフォーラムや理系教員選考会、新たに導入予定の大会時のキャリアパス展示・セミナー等を束ねる形のもので、広報面からもその準備を進めている。

7) 物理学関連の教育、人材育成と人材活用・支援の強化

キャリア支援センターでは、物理系人材の活躍の場を、アカデミックな研究だけでなく社会の様々な場へ広げていくための諸活動を継続して企画してきた。例年どおりに、理工系（物理関連分野）人材のためのキャリアフォーラムを 2 回、私立中高向け「理系教員選考会」を 3 回開催した。これらのイベント以外にも、Web やメールを通じたキャリア支援関連情報の広報活動を行った。今後の新しい取り組みとして、学会中のランチセミナーとして企業紹介のセッションを企画する方向性が出てきた。若手人材活用場の場としての広がり期待したい。

中高校生の物理学への興味をより促進させるための Jr. セッションは盛況が続いている。2016 年に応募が 100 件を超えた際に口頭発表を廃止して全件をポスター発表とすることにしたが、2017 年に引き続き 2018 年も応募が大幅に募集件数の 100 件を超え、第 1 次審査によってポスター発表数を 102 件に絞った。また、2019 年 3 月の年会の会期は春休み期間ではなかったため、最終日の日曜日に Jr. セッションを予定することで対応した。一方、Jr. セッションの運営経費が膨らんでおり、安定的運営のための資金源探索が必要である。核物理領域で行っている学部生ポスター発表については、パイロット事業として継続中である。

大学における物理教育の充実を図るために、例年どおり「大学の物理教育」を年 3 回発行した。2017 年に制定された大学の物理教育編集委員会の規程に基づいて、2018 年 4 月から担当理事が編集委員会に参加して、これまで以上に理事会と編集委員会の連携を密にする体制が確立した。他の学協会と連携して物理教育の一層の充実を図るために、昨年引き続き物理教育シンポジウムを日本物理教育学会と 2018 年 3 月に共同開催し、物理実験教育と深い学びをテーマとして議論を行った。

物理オリンピック日本委員会(JPhO)が開催している全国の物理が好きな中高生を対象としたコンテスト形式の物理チャレンジに物理学会も協力してきている。物理チャレンジは国際物理オリンピックの国内予選を兼ねており、2018 年の物理チャレンジ表彰式に物理学会長がプレゼンターとして出席した。これと並行して 2022 年に日本で開催されることとなった国際物理オリンピック IPhO2022 の準備も進められてきている。

2011 年以降開催されていなかった JABEE 連絡協議会を 2018 年 9 月に開催し、今後の体制について関連学協会と協議を行った。協議の結果、2019 年度より応物学会と物理学会が 6 年周期で JABEE 担当の事務局を交互に担当する方針が示された。

男女共同参画推進委員会では、女子中高生夏の学校、関西科学塾を共催とし、運営委員を出すなど、積極的な支援を行なっている。女子中高生夏の学校は、今期は8月9日から11日まで80名の中高生が参加した。また、会員の登録状況を調査し、女性研究者の物理学会への定着率が低いことを会誌に報告した。また男女共同参画学協会連絡会のアンケート結果の会員回答を分析し女性会員の感じているバイアス等について、会誌報告とした。今までは年次大会において、男女共同参画についてのシンポジウムを行なってきたが、2018年の3月より新企画として、年次大会でランチョンミーティングを開催し、ワークライフバランスについての講演と議論を行った。物理学会は、2018年11月から一年間男女共同参画学協会連絡会の幹事学会となっており、学協会連絡会の運営事務を担うとともに、学協会連絡会から発出する声明、要望の取りまとめに当たっている。また、2019年10月には学協会連絡会のシンポジウムを行う予定であり、内容について検討を始めている。

研究費配分に関する教育研究環境委員会では会員アンケートを行い1500名の回答（うち500名は教授レベル）があった。現在解析を行っており、大学における、研究時間の減少とそれに伴う研究アクティビティの低下、小中規模の研究室において研究情報へのアクセスが難しくなっているなど憂慮すべき状況が明らかになった。また回答者における任期付の割合が、30代後半でも30%近くあることが注目される。科研費等の獲得状況や、この結果については、とりあえずweb等において中間結果を順次報告していく予定である。

8) 大会のあり方の検討と充実

昨年度(2017年)に策定された改革案を実行に移し、一定の成果があった。

共催シンポジウムは、年次大会・秋季大会でいずれも5件を開催、第74回年次大会(2019年)で6件を採択した。企業展示は、委託業者の変更に伴い件数が5割近く上昇し、集客数も上った。秋季大会から昼食休憩時のランチョンセミナーを開始し、2社の参加、予定人数の聴衆を集めた。第74回年次大会(2019年)からはキャリアパス展示・セミナーを開始する。

本年度は、参加登録費値上げによる収入増、会場費の節約に加え、上記諸事業による副収入の増加もあり、大会運営は収支均衡する見込みである。補助金などの変動要因を除く収入について、引き続き改善の必要がある。

秋季大会より、学生優秀発表賞の授賞を開始した。概要集のJ-Stageへのデータ移行は完了し、公開を開始した。年次大会において懇親会を開催し、120名の参加を得た。第74回年次大会(2019年)でも実施の予定である。

一部領域の不参加などの臨時的変動を除き、参加登録者数・一般講演数の漸減傾向が明らかになりつつある。動向の注視・分析と同時に対策を打つべき段階に来ている。大会に際して開催される市民科学講演会は、集客のための周知宣伝作業が現地実行委員会の負担となり、空席が目立つ会が増えたため、次年度より開催/不開催を現地実行委員会の裁量に委ねることとした。

2. 各事業詳細資料

2-1. 学術講演会の開催・後援等	
2-1-1-1. 第73回年次大会	<p>開催領域：素粒子論領域、素粒子実験領域、理論核物理領域、実験核物理領域、宇宙線・宇宙物理領域、ビーム物理領域、領域1～13、物理と社会</p> <p>会期：3月22日(木)～25日(日)</p> <p>会場：東京理科大学 野田キャンパス(千葉県野田市山崎2641)</p> <p>講演数：3,736件</p> <p>内訳：原著講演3,460件、シンポジウム講演214件、招待・企画・チュートリアル講演20件、日本物理学会若手奨励賞受賞記念講演40件、総合講演2件*</p> <p>参加登録者数：5,477名</p> <p>内訳： 会 員：5,246名(一般3,348名、学生・院生1,898名) 非会員：231名(一般105名、学生・院生126名)</p>

	<p>託児室：3家族3名（延べ6名）</p> <p>*総合講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山田誠二（国立情報学研究所/総合研究大学院大学） 「インタラクティブな知能」 ・川村静児（名古屋大学大学院理学研究科） 「重力波天文学の夜明け」
2-1-1-2. 秋季大会	<p>【素粒子、宇宙線・宇宙物理領域関係大会】</p> <p>会期：9月14日（金）～17日（月祝）</p> <p>会場：信州大学松本キャンパス（長野県松本市旭3-1-1）</p> <p>講演数：657件</p> <p>内訳：原著講演624件、シンポジウム講演21件、招待・企画講演12件</p> <p>参加登録者数：905名</p> <p>内訳：会員：878名（一般518名、学生・院生360名） 非会員：27名（一般12名、学生・院生15名）</p> <p>託児室：申込なし</p> <p>【物性領域関係大会】</p> <p>会期：9月9日（日）～12日（水）</p> <p>会場：同志社大学京田辺キャンパス（京田辺市多々羅都谷1-3）</p> <p>講演数：2,572件</p> <p>内訳：原著講演2,456件、シンポジウム講演107件、招待・企画・チュートリアル講演9件</p> <p>参加登録者数：3,523名</p> <p>内訳：会員：3,392名（一般2,078名、学生・院生1,314名） 非会員：131名（一般38名、学生・院生93名）</p> <p>託児室：7家族8名（延べ20名）</p>
2-1-2. 各種国内会議	135件の国内会議の共催・協賛・後援を行なった。
2-2. 国際交流・協力活動	
2-2-1. 国際会議の共催	本年は国際会議の共催は行わず、20件の国際会議の協賛・後援等を行った。
2-2-2. その他の国際活動	<ul style="list-style-type: none"> ●AAPPS（アジア・太平洋物理学連合）メンバー学会としての活動 <ul style="list-style-type: none"> ・AAPPS委員会の開催（日本物理学会・応用物理学会合同） ・AAPPS理事会への委員派遣 ・AAPPS Bulletin 編集委員会への委員派遣 ・AAPPS Bulletin 編集委員会会議のWeb会議開催の協力 ・会誌・HPへのAAPPS活動の掲載 ●APS March Meeting 2018 ブース出展（3月） ●海外からの投稿者へのJPSJ掲載料金援助（一部）
2-3. 物理学に関する普及・啓発活動	
2-3-1. 科学セミナー	<p>企画名：AI（人工知能）と物理学</p> <p>会期：8月11日（土・祝）、12日（日）</p> <p>会場：東京大学駒場キャンパス 数理科学研究科棟 大講義室</p> <p>演題：情報処理技術としてのAI 外9件</p> <p>聴講料：一般2,000円、学生証提示で1,000円</p> <p>聴講者数：198名（8/11）、162名（8/12）</p> <p>※講師より許可された講演はビデオ撮影し、講演動画を本会会員および参加者にのみ限定公開した。</p>

2-3-2. 公開講座	<p>【理事会企画】</p> <p>企画名：周期表と物理学 会期：11月17日（土） 会場：東京大学本郷キャンパス伊藤謝恩ホール 演題：新元素ニホニウムの発見と、さらなる挑戦 外2件 聴講料：無料 聴講者数：300名</p> <p>※講師より許可された講演はビデオ撮影し、講演動画を本会ホームページ上で公開予定。</p>
2-3-3. 第14回 Jr. セッション (2018) (主に高校生による講演発表会)	<p>期日：3月23日（金） 場所：東京理科大学 野田キャンパス(第73回年次大会会場) 森戸記念体育館（ポスター発表） 薬学部13号館1311教室（高校生向け講演、表彰式） 講演発表数：101件</p>
2-3-4-1. 年次大会市民向け講演会	<p>第73回年次大会（2018年）（東京理科大学 野田キャンパス） 期日：3月25日（日）13:30～16:10 場所：東京理科大学 野田キャンパス 薬学部13号館1311教室 入場料：無料 プログラム： 広がる物理へのいざないーナノへ、宇宙へー 須藤 靖（東京大学大学院理学研究科）「地球型惑星の生命の探し方ーペイルブルードットのリモートセンシングー」 蔡 兆申（東京理科大学理学部）「超伝導人工原子のインパクト：量子コンピューターへの挑戦」」 参加者数：約120名</p>
2-3-4-2. 秋季大会市民向け講演会	<p>【秋季大会（信州大学）】 期日：9月16日（日）13:30～16:00 場所：松本キッセイ文化ホール（長野県松本文化会館）中ホール 入場料：無料 プログラム： 宇宙を探る地下実験とフィルム 梶田 隆章（東京大学宇宙線研究所長）「地下から探る宇宙と素粒子ーニュートリノ重力波ー」 中村 光廣（名古屋大学未来材料・システム研究所教授）「されど写真乾板、挑戦の日々ーフィルムで探るニュートリノ、暗黒物質、ピラミッドの謎ー」 参加者数：約500名</p> <p>【秋季大会（同志社大学）】 期日：9月9日（日）13:00～15:00 場所：同志社大学今出川キャンパス明德館M21番教室 入場料：無料 プログラム： 平尾 公彦（理化学研究所計算科学研究機構前機構長）「スーパーコンピューター「京」が拓いた新しい世界」 参加者数：約40名</p>
2-3-5. その他	<p>●物理教育シンポジウム 企画名：深い学びのための物理実験の在り方</p>

	<p>会期：3月4日(日) 会場：東京大学本郷キャンパス 小柴ホール 演題：学習指導要領の深い学びと高校での物理実験教育 外2件 (3件の講演に引き続き総合討論を行った) 聴講料：無料 聴講者数：128名</p> <p>●第23回日本物理学会論文賞 4編の論文を表彰した。受賞論文の代表者にはケース入り賞状と賞状の電子ファイルを贈呈した。</p> <p>●第11回日本物理学会若手奨励賞 41名の受賞者を決めた。授賞者にはケース入り賞状を贈呈した。</p> <p>●自然の不思議－物理教室 主催：日本物理学会・日本物理教育学会・国立科学博物館 開講日(計6回)：6月16日(土)、6月30日(土)、7月15日(日)、7月28日(土)、8月11日(土)、8月25日(土) 講座名：アーチ構造を作って！乗って？みよう 外5回 場所：国立科学博物館(上野本館 地球館3階実験実習室) 対象：小学5年生～一般 ※各回の教室の様子や実験の一部を、写真付きで本会ホームページに公開した。</p> <p>●世田谷区中学生講座(才能の芽を育てる体験学習：サイエンス・ドリーム) 主催：世田谷区教育委員会(当会は協賛) 開講日(計2回)：7月24日(火)、7月25日(水) 講座名：お弾きが衝突すると？ 外1回 (両日とも2講座を実施した。) 場所：国立大学法人 電気通信大学 対象：世田谷区立中学校の生徒 ※当会物理教育委員会・委員が講師を務めた。 ※各回の教室の様子や実験の一部を、写真付きで本会ホームページに公開した。</p> <p>●基礎実験講習会(高校物理の授業に役立つ基本実験講習会：東京会場) 主催：物理教育研究会(APEJ)、日本物理学会 共催：日本物理教育学会 協賛：応用物理学会、学術図書出版社 会期：7月15日(日)～7月16日(月・祝) 会場：麻布高等学校 実験項目：力と運動 外8項目 対象：現職の物理(理科)教員、物理(理科)教員を志望する学生 他 ※本会支部(北海道支部、東北支部、新潟支部、大阪支部、四国支部、九州支部)においても日本物理教育学会、物理教育研究会(APEJ)他との共催等により各地で開催した。</p>
2-4. 本会の目的達成のために重要な活動	
2-4-1. キャリア支援センター	<p>物理系人材の活躍の場を、アカデミックな研究だけでなく社会の様々な場へ広げていくための諸活動を行った。 以下にセンターが行ったキャリア支援イベントを挙げる。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ● 理工系（物理関連分野）人材のためのキャリアフォーラム 2月 3日（土）於 東京大学理学部（参加者約 60 名） 2月 10日（土）於 大阪大学理学部（参加者約 40 名） <p>前半でキャリアガイダンスとして物理系人材が社会で活躍するにあたって参考となる講演を 2 件行い、後半では数社の企業の代表者に理系人材がそこでどのように活躍しているかを紹介してもらった。その後に質疑応答時間を十分にとり、参加者の今後のキャリア開発を支援する場とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 私立中高向け「理系教員選考会」 1月 7日（日）於 お茶の水女子大学理学部（参加者 80 名、採用決定 10 名） 1月 21日（日）於 神戸大学 百年記念館（参加者 37 名、採用決定 6 名） 12月 9日（日）於 福岡大学 18号館（参加者 13 名、採用決定 1 名） <p>教員志望の理系人材のために、2018 年春(12 月のイベントは 2019 年春)からの採用をめざして私立の中高の担当者と理系人材が直接面談する機会を設けた。 (2019 年の開催予定: 1月 6日(日) お茶の水女子大学、1月 13日(日) 神戸大学)</p> <p>これらのイベント以外には、Web やメールを通じたキャリア支援関連情報の広報活動を行った。また、昨年に催した物理学会と人工知能学会との意見交換の場で提案された両学会の連携協力活動の一環として、人工知能学会誌に物理学会会員の記事が寄稿された。(人工知能、vol. 33, No. 4)</p>
2-4-2. 協力活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 「日本技術者教育認定機構 (JABEE)」関係 <ul style="list-style-type: none"> ・ JJABEE 物理・応用物理学関連分野における 2018 年度認定継続審査を実施 ・ JABEE 理事、認定・審査調整委員会、審査事務連絡会、拡大運営委員会の各委員等を派遣 ● 男女共同参画関係 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学会誌の「男女共同参画推進委員会だより」で広報活動を実施 ・ 男女共同参画推進ランチョンミーティング「研究職にとっての子育て、および、第 4 回科学技術系専門職の男女共同参画実態調査報告」（日本物理学会年次大会）開催 ・ 女子中高生夏の学校 2018 の企画、運営、および参加 ・ 第 16 回男女共同参画学協会連絡運営委員会とシンポジウム参加 ・ 第 17 期男女共同参画学協会連絡運営委員会幹事学会 ● 受賞候補等推薦委員会関係 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 45 回（2017 年度）内藤記念講演助成金（春季）、2018 年度山田科学振興財団研究援助、第 46 回（2018 年度）内藤記念講演助成金（秋季）、平成 31 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞、平成 31 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者

	<p>賞、第 35 回（2018 年度）井上學術賞、2018 年度島津賞、2018 年度島津奨励賞、平成 30 年度本多記念研究奨励賞、第 59 回（平成 30 年度）東レ科学技術研究助成の各賞・助成に候補者を推薦</p> <p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会理事派遣
2-4-3. 物理系学術誌刊行センター(PCPAP)	<p>応用物理学会と協同して運営を行った。</p>
2-4-4. 支部活動	<p>●2018 年秋季大会同志社大学京田辺キャンパス会場にて支部長懇談会（9 月 11 日）を、本会事務局会議室にて支部長会議（6 月 9 日）を開催した。</p> <p>●支部例会、支部特別企画等</p> <p>次のとおり、各支部において適宜開催した（支部主催事業等、主な事業を記載）。</p> <p>【北海道支部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員会 <ul style="list-style-type: none"> …会期：12 月 13 日（木）、会場：北海道大学 ・北海道支部講演会（計 7 回） <ul style="list-style-type: none"> …会期：1 月 19 日（金）／4 月 24 日（火）／7 月 26 日（木）／9 月 13 日（木）／10 月 12 日（金）／11 月 29 日（木）／12 月 18 日（火）、会場：北海道大学、共催：エンレイソウの会、物理コロキウム、応用物理学部門学術講演会 ・高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 in 北海道 <ul style="list-style-type: none"> …会期：1 月 9 日（火）、会場：北海道札幌南高等学校、参加者数：40 名、主催：日本物理教育学会北海道支部／日本物理学会北海道支部 <p>【東北支部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員会 <ul style="list-style-type: none"> …会期：8 月 30 日（火）、会場：東北大学 ・出前授業（計 10 回） <ul style="list-style-type: none"> …会期：2 月 16 日（金）／3 月 15 日（木）／4 月 30 日（月）／6 月 19 日（火）／10 月 4 日（木）／10 月 6 日（土）／10 月 11 日（木）／11 月 6 日（火）／11 月 21 日（水）／11 月 22 日（木）、会場：宮城学院高等学校／栃木県立栃木高等学校／福島県高等学校文化連盟自然科学専門部／秋田県立秋田南高等学校／山形県立鶴岡南高等学校／福島県安積高等学校／秋田県立秋田南高等学校／仙台市立仙台青陵中等教育学校／宮城県立仙台第一高等学校／宮城県高等学校理科研究会・化学部会 於 パレットおおさき ・学都仙台宮城サイエンスデイ 2018 <ul style="list-style-type: none"> …会期：7 月 15 日（日）、会場：東北大学、主催：特定非営利活動法人 natural science、共催：日本物理学会東北支部／東北大学／仙台市教育委員会／他 計 13 団体、協賛：株式会社ユーメディア／一般財団法人みやぎ産業科学振興基金など計 5 団体、後援：文部科学省／宮城県／仙台市／宮城県教育委員会／他 計 56 団体、参加者数：10,666 名 ・第 6 回高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 in 東北（秋田） <ul style="list-style-type: none"> …会期：11 月 24 日（土）、会場：秋田県立秋田高等学校、主催：日本物理教育学会東北支部、共催：日本物理学会東北支部／物理教育研究会(APEJ)、後援：秋田県高等学校教育研究会理科部会／

学術図書出版社、参加者数：24名

【新潟支部】

・役員会

…会期：12月15日(土)、会場：新潟大学、参加者数：6名

・支部例会

…会期：12月15日(土)、会場：新潟大学、参加者数：86名

・高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 in 新潟

…会期：12月2日(日)、会場：新潟大学駅南キャンパス ときめいと、主催：物理教育研究会(APEJ)／日本物理学会新潟支部／新潟大学／新しい理科教育を研究する会、共催：日本物理教育学会、後援：学術図書出版社／新潟県高等学校教育研究会理科部会／新潟県理化学協会、参加者数：12名

【北陸支部】

・役員会(計2回)

…会期：7月29日(日)／11月24日(土)、会場：金沢大学

・支部総会

…会期：11月24日(土)、会場：金沢大学角間キャンパス、参加者数：24名

・北陸支部定例学術講演会

…会期：11月24日(土)、会場：金沢大学角間キャンパス、主催：日本物理学会北陸支部、協力：金沢大学、参加者数：166名(学生：118名、一般：48名)

・特別講演会(計9回)

…会期：2月7日(木)／3月8日(木)／4月23日(月)／5月31日(木)／6月7日(木)／10月12日(金)／10月29日(月)／10月31日(水)／11月26日(月)、会場：富山大学／福井大学／金沢大学

【名古屋支部】

・第21回「リフレッシュ理科教室」

…会期：6月24日(日)／6月30日(土)／7月31日(火)／8月4日(土)／8月25日(土)／9月17日(月・祝)、会場：岐阜市科学館／静岡大学／山梨県立科学館／名古屋市科学館／三重大学、主催：公益社団法人応用物理学会／岐阜市科学館／岐阜市教育委員会／公益社団法人山梨県青少年協会／三重ジュニアドクター養成所／三重大学大学院工学研究科／山梨県立科学館／山梨大学／津市教育委員会／浜松科学館／名古屋市科学館、後援：日本物理学会名古屋支部／日本赤外線学会／日本化学会東海支部／日本セラミックス協会関東支部／電子情報通信学会東海支部／電気学会東海支部／応用物理学会応用物理教育分科会／レーザー学会中部支部／プラズマ・核融合学会／山梨県小中学校理科教育研究会／山梨県高等学校教育研究会理科部会／山梨県教育委員会／三重県教育委員会／岐阜市中学理科研究部会／岐阜市小学校理科研究部会／岐阜県教育委員会／甲府市教育委員会／静岡県教育委員会／愛知県教育委員会／山梨県発明協会／毎日新聞社／毎日新聞甲府支局／浜松市教育委員会／浜松 RAIN 房／読売新聞社／読売新聞甲府支局／朝日新聞社／朝日新聞甲府総局／中日新聞東海本社／中日新聞社／静岡新聞社・静岡放送／産経新聞甲府支局／山梨放送／山梨日日新聞社／三重テレビ放送／岐阜放送／岐阜新聞社／株式会社 ZTV／伊勢新聞社／テレビ山梨／NHK 津放送局／NHK 静岡放送局・浜松支局／NHK 岐阜放送局、協賛：FDK 株式会社／IMRA

AMERICA, INC., FDK 株式会社／オザワ科学株式会社／スリーエス株式会社／トヨタ自動車株式会社／フジコ教材／ミネベアミツミ株式会社／ムラセ印刷株式会社／ローム浜松株式会社／株式会社 LIXIL / 株式会社コスモス・コーポレーション／株式会社テクノ西村／株式会社デンソー／株式会社フジミインコーポレーテッド／株式会社栄屋理科／株式会社花市電子顕微鏡技術研究所／株式会社亀太／株式会社日進産業／株式会社巴商会／株式会社富士科学／株式会社片桐エンジニアリング／株式会社豊田中央研究所／株式会社論理回路／岐阜工業高等専門学校地域連携協力会／宮吉硝子株式会社／興亜エレクトロニクス株式会社／三弘エマテック株式会社／住友電装株式会社／小島プレス工業株式会社／東朋テックノロジー株式会社／浜松ホトニクス株式会社／豊前医科株式会社／豊田合成株式会社／名古屋科学機器株式会社／有限会社アルファシステム／有限会社サイエンス商会／有限会社中井電気工事

【京都支部】

・支部総会

…会期：8月31日(金)、会場：京都大学

・親子理科実験教室

…プランクトンの化石を探そう！、会期：8月4日(土)／8月5日(日)、会場：京都大学放射性同位元素総合センター分館／京都大学理学研究科セミナーハウス、主催：NPO 法人あいんしゅたいん／日本物理学会京都支部

…お菓子と科学年「シュワシュワの科学を学んで、モコモコふくらむおやつを作ろう！」、会期：12月23日(土)、会場：京都大学理学研究科セミナーハウス、主催：NPO 法人あいんしゅたいん／日本物理学会京都支部

・おもしろ算数塾(計7回)

…テーマ：「統計のセンス」と「スケールの感覚」、会期：2月4日(日)／4月22日(日)／5月13日(日)／6月10日(日)／7月8日(日)／8月18日(土)／8月19日(日)、会場：京都大学理学部セミナーハウス、主催：NPO 法人あいんしゅたいん／日本物理学会京都支部

・科学交流セミナー「ロボット時代の創造」

…会期：12月23日(日)、会場：京都大学基礎物理学研究所 湯川記念館 パナソニック国際交流ホール、参加者数：90名、主催：日本物理学会京都支部、協力：京都大学基礎物理学研究所、NPO 法人あいんしゅたいん

・市民講座「物理と宇宙」第6回

…会期：10月21日(日)、会場：京都大学百周年時計台記念館(大ホール)、参加者数：約400名、主催：京都大学 大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻／基礎物理学研究所、共催：日本物理学会京都支部、後援：京都新聞／京都市教育委員会／京都府教育委員会／滋賀県教育委員会

【大阪支部】

・大阪支部懇談会(計2回)

…会期：4月5日(木)／5月28日(月)、会場：大阪大学産業科学研究所／大阪府立大学 I-site なんば

・大阪支部講演会(計3回)

…会期：4月10日(火)／7月18日(水)／9月19日(水)、会場：

大阪市立大学 理学部／大阪大学 南部陽一郎ホール、主催：量子科学技術開発研究機構／日本原子力研究開発機構／兵庫県立大学／大阪市立大学大学院理学研究科／大阪大学大学院理学研究科物理学専攻、共催：日本物理学会大阪支部

・公開シンポジウム

…テーマ：ホーキングの夢を追う、会期：12月23日（日）、会場：大阪府立大学I-siteなんば カンファレンスルーム、主催：日本物理学会大阪支部、後援：日本物理学会京都支部／日本物理教育学会近畿支部／大阪府教育委員会／兵庫県教育委員会／和歌山県教育委員会／京都府教育委員会／大阪市教育委員会／京都市教育委員会、一般参加者：164名

・第33回湯川記念講演会

…会期：1月21日（日）、会場：大阪大学 南部陽一郎ホール、主催：大阪大学総合学術博物館湯川記念室、共催：日本物理学会大阪支部、後援：日本物理教育学会近畿支部、協力：大阪大学21世紀懐徳堂

・第34回湯川記念講演会

…会期：12月16日（日）、会場：大阪大学 南部陽一郎ホール、主催：大阪大学総合学術博物館湯川記念室、共催：日本物理学会大阪支部、後援：日本物理教育学会近畿支部、協力：大阪大学21世紀懐徳堂

・ふしぎと遊ぼう！青少年のための科学の祭典2018大阪大会 サイエンス・フェスタ

…テーマ：科学・技術と私たちの暮らし～防災・安全・環境・エネルギー～、会期：8月18日（土）～19日（日）、会場：大阪梅田・ハービスホール、主催：「青少年のための科学の祭典」大阪大会実行委員会／日本科学技術振興財団・科学技術館／日本物理教育学会近畿支部／日本物理学会大阪支部／大阪市教育委員会／大阪市立科学館／関西サイエンス・フォーラム／読売新聞社／大阪科学振興協会、後援：文部科学省／大阪府教育委員会 他、参加者：約10,000人

・高校物理基本実験講習会2018

…会期：12月16日（日）、会場：関西大学北陽高等学校、主催：日本物理教育学会近畿支部、共催：日本物理学会物理教育委員会／日本物理学会大阪支部、協賛：大阪府高等学校理化教育研究会

・大阪電気通信大学エレクトロニクス基礎研究所ワークショップ

…テーマ：「界面・ナノ構造・結晶成長への機械学習の応用と実践」、会期：7月1日（日）、会場：大阪電気通信大学 駅前キャンパス、主催：大阪電気通信大学エレクトロニクス基礎研究所、協賛：日本物理学会大阪支部、参加者数：67名

・一日科学体験2018

…会期：8月23日（木）、会場：甲南大学 岡本キャンパス、主催：甲南大学理工学部、共催：甲南大学統合ニューロバイオロジー研究所／文部科学省新学術領域温度生物学、協賛：日本物理学会大阪支部、日本遺伝学会／日本化学会近畿支部／化学工学会関西支部／日本物理教育学会近畿支部／応用物理学会、後援：日本物理教育学会／日本物理学会、参加者数：60名

【中国支部】

- ・役員会（計3回）
 - …会期：6月12日(火)／7月9日(月)／8月2日(木)、会場：メール会議
- ・2018年度 応用物理・物理系学会 中国四国支部合同学術講演会
 - …会期：8月4日(土)、会場：広島大学、主催：応用物理学会中国四国支部／日本物理学会中国支部・四国支部／日本物理教育学会中国四国支部／日本光学会中国・四国・九州支部、後援：公益財団法人中国電力技術研究財団
- ・第22回物理教育研究会 「小学校から使える理科教材ワークショップ(IV)」
 - …会期：2月17日(土)、会場：広島大学、参加者数：約80人、主催：広島県物理教育研究推進会、後援：広島県高等学校教育研究会理科部会物化部／日本理科教育学会中国支部／日本物理学会中国支部／日本物理教育学会中国四国支部／公益社団法人日本理科教育振興協会
- ・サイエンスワールド 2018 「20周年 今年もやるよ！科学の体験」
 - …会期：年10月27日(土)、会場：山口大学、参加者数：1000人以上、主催：山口大学理学部、協力：山口大学教育学部理科教育講座／山口大学時間学研究所、後援：山口県教育委員会／山口大学理学部同窓会（鴻理会）／山口大学理学部後援会／日本地質学会西日本支部／日本物理学会中国支部／電子情報通信学会中国支部／情報処理学会中国支部／日本動物学会中国四国支部／日本分析化学会中国四国支部／日本化学会中国四国支部／中国四国植物学会／山口地学会／山口大学生協／NHK 山口放送局／KRY 山口放送／tys テレビ山口／yab 山口朝日放送／C-able 山口ケーブルビジョン／株式会社サンデー山口／地域情報新聞ほっぷ／一般社団法人山口県情報産業協会、協賛：山口情報芸術センター(YCAM)

【四国支部】

- ・役員会
 - …会期：9月15日(土)、会場：香川大学
- ・応用物理・物理系学会中国四国支部合同学術講演会
 - …詳細は中国支部と同内容
- ・高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 in 高松 2018
 - …会期：12月8日(土)、会場：高松第一高等学校、主催：基本実験講習会 in 高松実行委員会、共催：物理教育研究会(APEJ)／日本物理学会四国支部／日本物理教育学会中国四国支部、後援：香川県高等学校教育研究会理化部会、参加者数：40名
- ・LED総合フォーラム 2018 in 徳島
 - …会期：2月12日(月祝)、会場：徳島グランヴィリオホテル、主催：徳島大学／徳島産業振興機構、協賛：日本物理学会四国支部、参加者数：200名

【九州支部】

- ・役員会（計2回）
 - …会期：1月24日(水)／12月8日(土)、会場：九州大学／大分大学
- ・支部例会
 - …会期：12月8日(土)、会場：大分大学、参加者数：150名、主催：日本物理学会九州支部、共催：日本物理教育学会九州支部

	<ul style="list-style-type: none"> ・特別講演会「拘束条件付き自己組織化：その枠組みと脳の機能分化への応用」 …会期：12月9日(土)、会場：大分大学、主催：日本物理学会九州支部、共催：日本物理教育学会九州支部、参加者数：約100名 ・第8回高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 in 福岡 …会期：11月23日(木・祝)、会場：久留米工業大学、主催：福岡県高等学校物理部会／日本物理学会九州支部／日本物理教育学会九州支部、共催：物理教育研究会(APEJ)／科学教育ネットワーク in 福岡／NPO 法人理科カリキュラムを考える会、参加者数：53名 ・物理教育学会九州支部総会および研究大会 …会期：3月3日(土)、会場：鹿児島大学、参加者数：総会12名／研究会30名、主催：日本物理教育学会九州支部、共催：日本物理学会九州支部、後援：鹿児島県教育委員会／鹿児島市教育委員会 																				
2-4-5. 情報・資料公開	<ul style="list-style-type: none"> ●図書雑誌および物理学史資料の供覧 必要に応じて実施した。 ●会誌の寄贈交換：国内、国外 																				
2-4-6. 寄付金の収受・使用	<p>2018年1月～12月に収受した寄付金は以下のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="584 896 1362 1084"> <thead> <tr> <th>寄付先事業</th> <th>金額</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>次世代人材育成プロジェクト</td> <td>122,000円</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>科学セミナー事業</td> <td>17,000円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">合計</td> <td>139,000円</td> <td>17件</td> </tr> </tbody> </table> <p>2018年中の寄付金使用状況は以下のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="584 1167 1401 1308"> <thead> <tr> <th>寄付金の使用先</th> <th>金額</th> <th>対象事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業運営費</td> <td>17,000円</td> <td>科学セミナー事業</td> </tr> <tr> <td>翌年繰越</td> <td>122,000円</td> <td>次世代人材育成プロジェクト</td> </tr> </tbody> </table>	寄付先事業	金額	件数	次世代人材育成プロジェクト	122,000円		科学セミナー事業	17,000円	合計	139,000円	17件	寄付金の使用先	金額	対象事業	事業運営費	17,000円	科学セミナー事業	翌年繰越	122,000円	次世代人材育成プロジェクト
寄付先事業	金額	件数																			
次世代人材育成プロジェクト	122,000円																				
科学セミナー事業	17,000円																				
合計	139,000円	17件																			
寄付金の使用先	金額	対象事業																			
事業運営費	17,000円	科学セミナー事業																			
翌年繰越	122,000円	次世代人材育成プロジェクト																			
2-5. 刊行物（実施事業を含む）																					
2-5-1. 日本物理学会誌	<p>【公益目的支出計画実施事業】 第73巻第1号～12号を刊行した。A4冊子版、月刊、</p> <table border="1" data-bbox="576 1429 1177 1572"> <thead> <tr> <th></th> <th>総数</th> <th>月平均</th> <th>月予定数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ページ数</td> <td>1,088</td> <td>91</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>刊行部数</td> <td>196,720</td> <td>16,393</td> <td>16,760</td> </tr> </tbody> </table> <p>【特別購読数】国内：232 国外：3</p>		総数	月平均	月予定数	ページ数	1,088	91	97	刊行部数	196,720	16,393	16,760								
	総数	月平均	月予定数																		
ページ数	1,088	91	97																		
刊行部数	196,720	16,393	16,760																		
2-5-2. JOURNAL OF THE PHYSICAL SOCIETY OF JAPAN (JPSJ)	<p>Vol. 87 No. 1～No. 12を刊行した。A4冊子及び電子版。</p> <table border="1" data-bbox="576 1693 1203 1816"> <thead> <tr> <th></th> <th>総数</th> <th>月平均</th> <th>月予定数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ページ数</td> <td>2861</td> <td>238</td> <td>247</td> </tr> <tr> <td>冊子刊行部数</td> <td>4,240</td> <td>353</td> <td>380</td> </tr> </tbody> </table> <p>【掲載論文】 Letter 94, Full Paper 264, Short Note 21, Addenda 0, Comments & Reply 0, Erratum 1, Invited Paper 0, Special Topics 31 【電子版の2018年1月～12月論文総ダウンロード数 353,609】 【電子版ダウンロード、国内外の比率】国内48%、海外52%</p>		総数	月平均	月予定数	ページ数	2861	238	247	冊子刊行部数	4,240	353	380								
	総数	月平均	月予定数																		
ページ数	2861	238	247																		
冊子刊行部数	4,240	353	380																		

	【特別購読数】国内 145 (オンライン版 62、冊子版 83) 国外 338 (オンライン版 225、冊子版 113)
2-5-3. PROGRESS OF THEORETICAL AND EXPERIMENTAL PHYSICS (PTEP)	Volume 2018 Issues 1~12 を電子版で発行した。 掲載論文数： Paper 136 Letter 16 Errata・Addenda 5 特集論文・招待論文 0 【電子版の2018年1月-12月論文総ダウンロード数】 106,903
2-5-4. JPS Conference Proceedings	Vol. 19 Proceedings of 2016 International Conference on Ultra-High Energy Cosmic Rays (UHECR2016) e-ISBN: 978-4-89027-126-9、48 論文 Vol. 20 Proceedings of the Workshop on Quarks and Compact Stars 2017 (QCS2017) e-ISBN: 978-4-89027-127-6、53 論文 Vol. 21 Proceedings of the 14th International Conference on Muon Spin Rotation, Relaxation and Resonance (μ SR2017) e-ISBN: 978-4-89027-130-6、66 論文 Vol. 22 Proceedings of the International Conference on Neutron Optics (NOP2017) e-ISBN: 978-4-89027-132-0、41 論文 Vol. 23 Proceedings of the Ito International Research Center Symposium "Perspectives of the Physics of Nuclear Structure" e-ISBN: 978-4-89027-133-7、51 論文 【電子版の2018年1月-12月論文総ダウンロード数 30,232】 【電子版ダウンロード、国内外の比率】国内 36%、海外 64%】
2-5-5. 講演概要集	第73回年次大会(第73巻第1号) (全領域掲載) Web版 2018年3月1日から1年間公開 DVD版 1,400部 ※ほかに年次大会のプログラムとして3月増刊号158ページ(本文)17,500部を刊行した。 2018年秋季大会(第73巻第2号) (全領域掲載) Web版 2018年9月1日から1年間公開 DVD版 1,200部 ※ほかに秋季大会のプログラムとして8月増刊号136ページ(本文)17,250部を刊行した。
2-5-6. 大学の物理教育 (B5判)	第24巻1号(3月)、2号(7月)、3号(11月)を刊行 各号の刊行部数1,2,3号1,600部 年間総ページ数132ページ

(附属明細1) 処務詳細資料
総会・役員会等に関する事項

3-1-1. 総会 (開催日)	第98回定時総会 (3月31日)
3-1-2. 監事会 (開催日)	2月17日
3-1-3. 理事会等 (開催日)	●理事会 1月13日 2月17日 3月9日 3月31日 4月14日 5月12日 6月16日 7月14日 8月4日 9月8日 10月6日 11月10日 12月8日 ●会計理事会議

	<p>2月16日 4月23日 ●予算編成ワーキンググループ会議 8月4日 10月30日 ●会員・会友ワーキンググループ 6月22日 ●社会連携検討ワーキンググループ 2月16日 3月8日 5月10日 ●寄付金ワーキンググループ 7月20日 ●寄付金・社会連携検討 合同ワーキンググループ 9月28日 ●日本物理学会・応用物理学会情報交換会 3月30日</p>
3-1-4. 委員会等（開催日）	<p>●刊行委員会 1月9日 2月28日 5月15日 7月4日 9月3日 11月5日 ●会誌編集委員会 1月20日 2月24日 3月17日 4月21日 5月26日 6月23日 7月21日 8月20日 9月29日 10月20日 11月17日 12月15日 ●新著紹介小委員会 1月17日 3月14日 5月30日 7月11日 9月5日 11月21日 ●JPSJ 編集委員会 1月17日 2月14日 3月19日 4月10日 5月16日 6月11日 7月17日 8月8日 9月13日 10月16日 11月14日 12月17日 ●第2期 JPSJ 将来計画検討ワーキンググループ 2月14日 ●PTEP 編集委員会 2月2日 5月14日 7月20日 9月26日 ●受賞候補等推薦委員会 2月19日 7月21日 9月28日 ●物理教育委員会 2月8日 3月4日 6月4日 8月17日 11月2日 ●大学の物理教育編集委員会 1月20日 2月17日 2月24日 5月12日 6月9日 6月23日 8月27日 9月15日 10月13日 10月27日 ●男女共同参画推進委員会 2月19日 5月21日 9月22日 ●男女共同参画学協会運営委員会 10月13日(学協会シンポジウム) 12月10日 ●日本物理学会と応用物理学会における男女共同参画関連国際活動連絡会 10月2日 ●領域委員会 5月23日 11月13日 ●事務局運営委員会 2月7日 3月9日 5月12日 8月4日 10月6日 ●AAPPS 委員会 3月2日 7月24日 ●選挙管理委員会 1月12日 7月2日</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ●物理学史資料委員会 3月10日 6月2日 9月29日 12月15日(物理遺産WG) ●Jr.セッション委員会 1月20日 ●第23回日本物理学会論文賞選考委員会 2月3日 ●広報委員会委員会 10月2日 12月3日 (その他メール審議3回) ●研究費配分に関する教育研究環境検討委員会 3月25日 6月4日 11月27日
--	---

契約・入札・他に関する事項

● 主な新規契約に関する事項

契約月日	相手方	契約の種類等	期間 等
2018/3/15	AIP Publishing	SALES AND MARKETING SERVICES AGREEMENT	2019/1/1～5年間(その後5年毎自動更新)
2018/5/31	日本郵便(株)	業務委託	2018/6/1～2019/5/31
2018/6/1	(一社)日本技術者教育認定機構	審査業務	2018/6/1～2019/3/31
2018/12/1	リコーリース(株)	リース契約	2018/12/1～2023/11/30

●入札に関する事項(なし)

● 許可、認可および承認に関する事項(なし)

● その他の事項

・第75・76期会長選挙を行った。

(附属明細2) 会員の異動状況

会員種別	会 員 数		増 減
	2017年12月31日現在	2018年12月31日現在	
正会員	16,084 ¹⁾ (内:大学院生数2,901)	15,776 ²⁾ (内:大学院生数2,791)	-308 (内大学院生数-110)
学部学生会員	167	181	14
賛助会員	87(194口)	91(198口)	4(4口)
計	16,338	16,048	-290

¹⁾ うち名誉会員 21、シニア会員 762。

²⁾ うち名誉会員 19、シニア会員 801。

(附属明細3) 事務局の現況 (2018年12月31日現在)

職員15名は事務局と物理学系学術誌刊行センターに分かれており、派遣職員等を含む人員配置の内訳は以下の通りである。

事務局	職員13名 契約職員1名 派遣職員1名
刊行センター	職員2名 派遣職員2名 JPSJ専任編集委員長1名 JPSJ専任編集委員1名 PTEP専任編集委員長1名

一般社団法人 日本物理学会
2018 年事業報告附属明細書
(2018 年 1 月 1 日～12 月 31 日)

・記載すべき事項 特に無し